

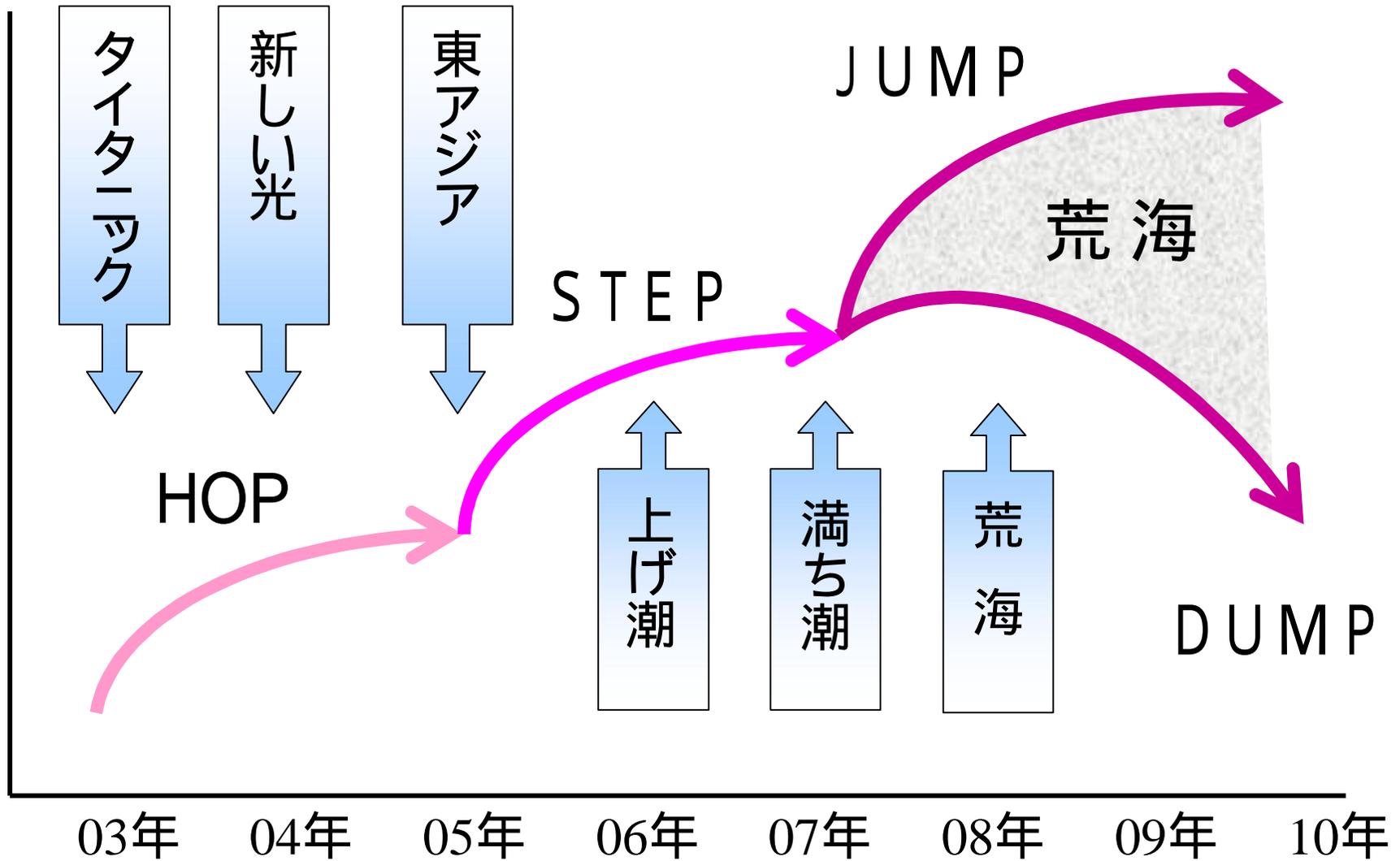
乱気流の中に見えてきた 新しい世界

2009年2月17日

イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野睦典

JUMP and DUMP



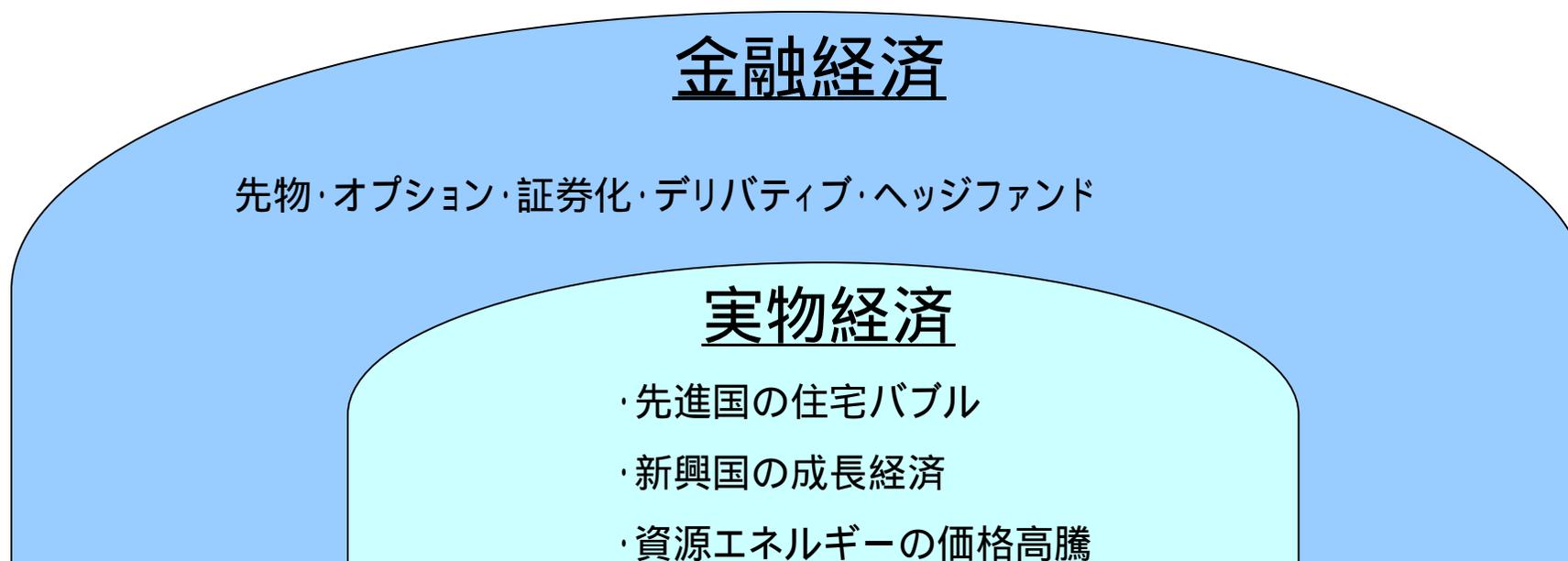
JUMPの原因 DUMPの原因

JUMPの原因：実物経済と金融経済の逆転現象

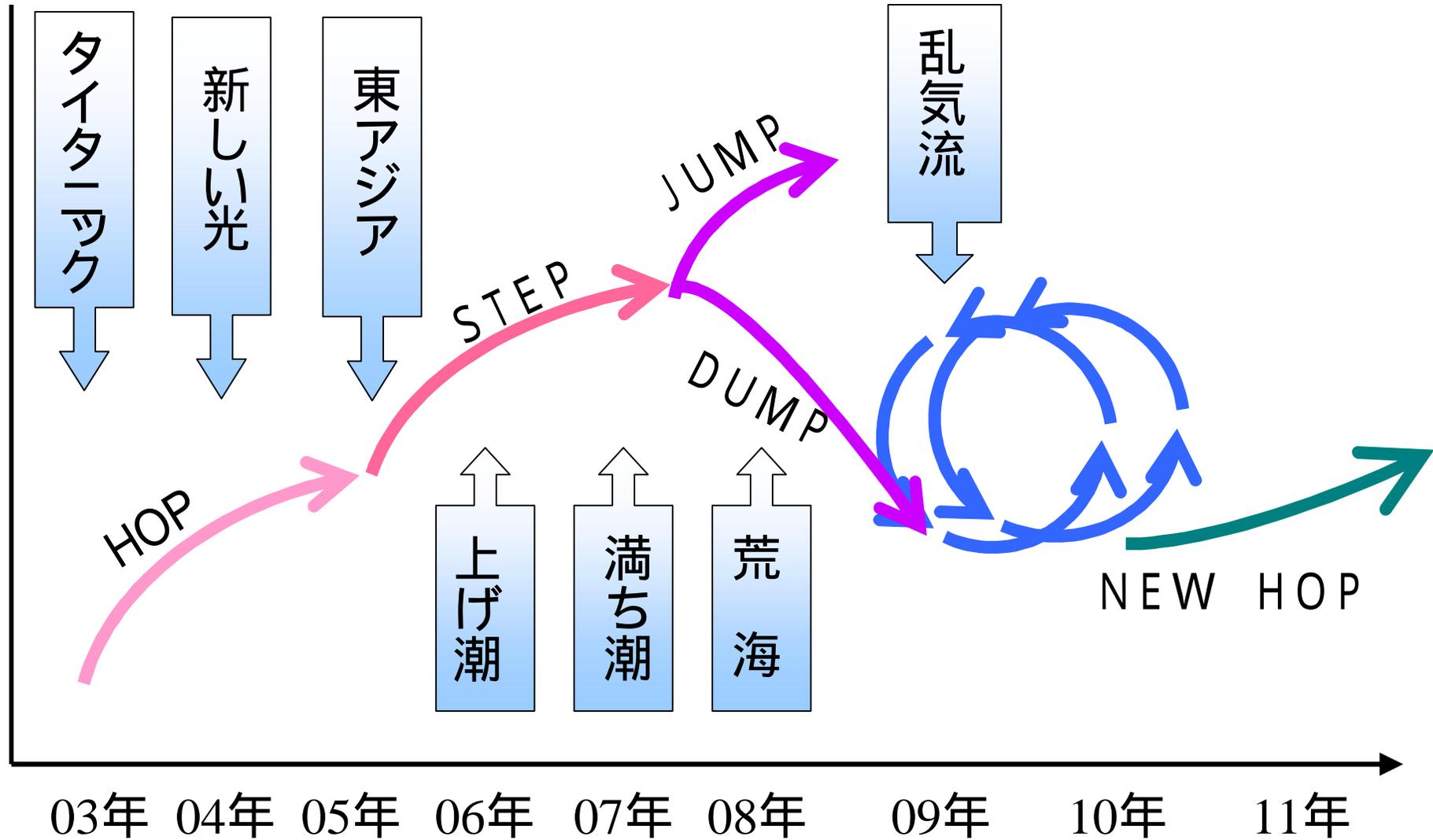
- ・シッポが胴体を振り回す。まさに、それが起きた。
- ・基本は実物経済がありき。金融経済が増幅し、行きすぎる。
- ・不都合な事実には目を閉ざしていた。

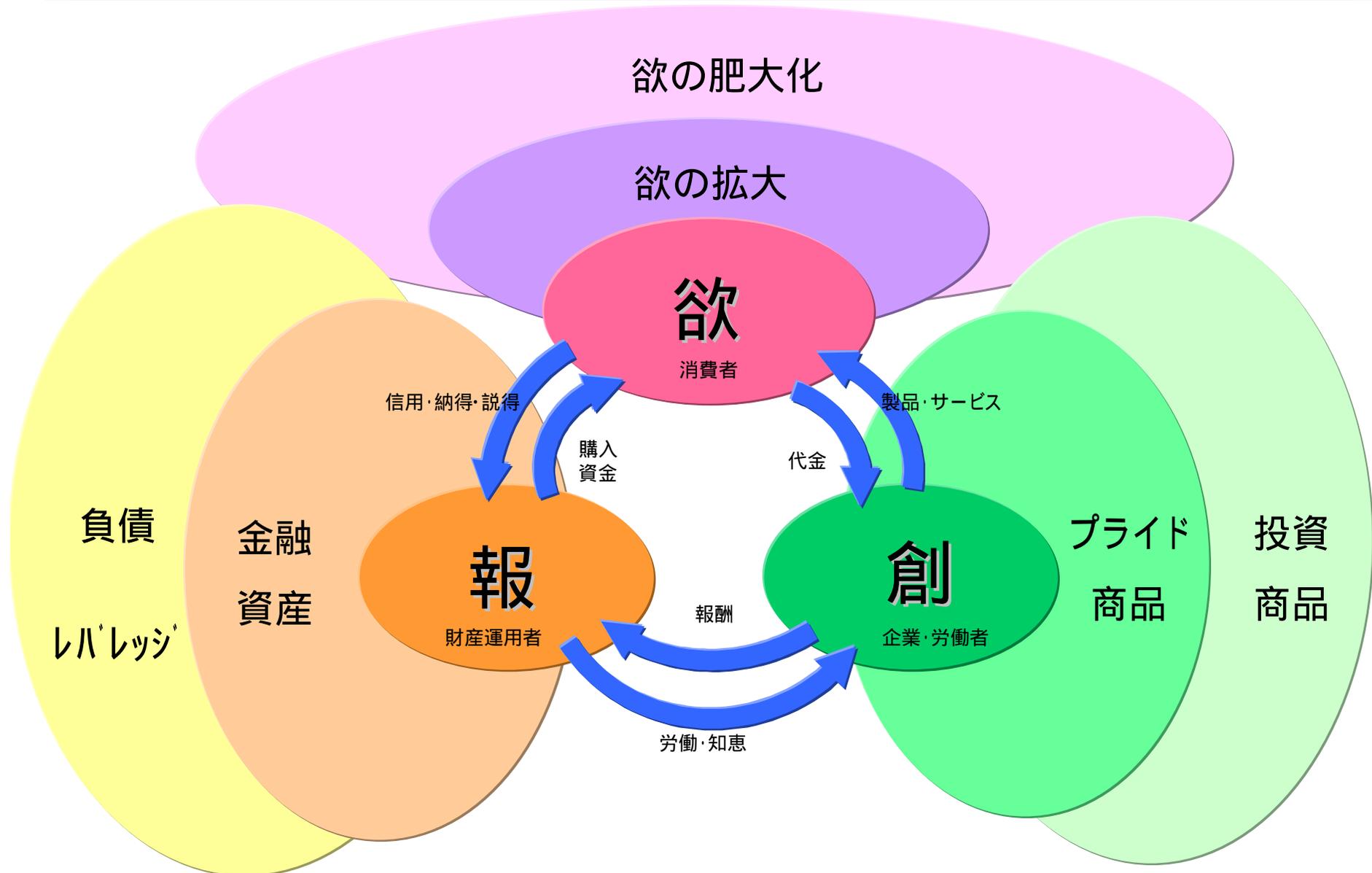
DUMPの原因：金融経済リードによる実物経済の破綻

- ・住宅投資の崩壊、資源エネルギー価格の急落
- ・支えていた金融機関の破綻
- ・実物経済の急ブレーキ



乱気流の中に見える新しい世界

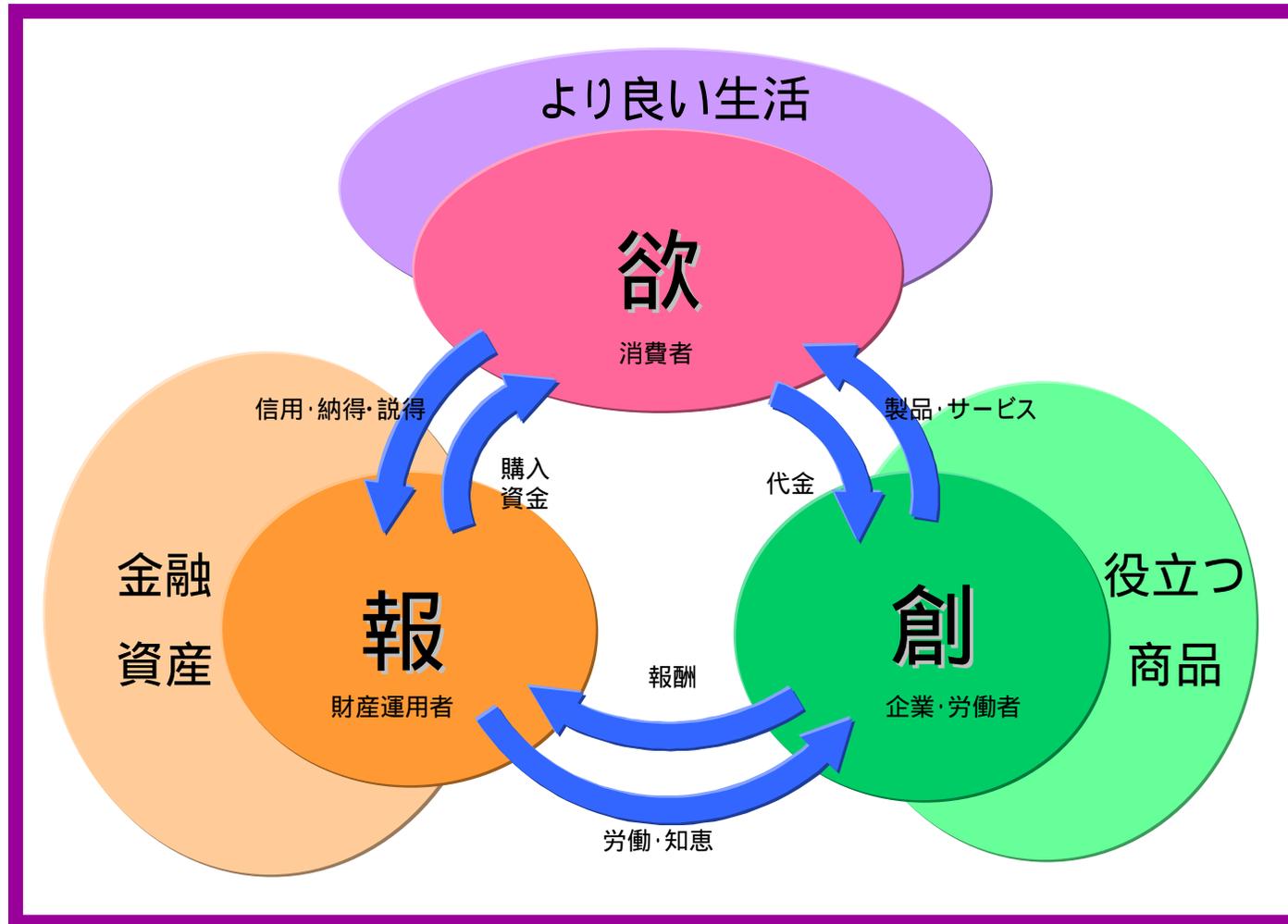




4つの限界を踏まえた新経済システム

欲望至上主義の限界

資源の限界



人間の能力の限界

地球環境の限界

残された懸案

700兆円の負債増加:うち400兆円が不良資産化

緊急金融安定化対策

半分(200兆円)は政府が持つ

- ・不良資産買取、資本注入、ローン返済猶予 100兆円
- ・財政投資(新省エネ、環境、インフラ整備) 100兆円

半分(200兆円)は民間がかぶる

- ・住宅損切り
- ・住宅貸付、クレジット、自動車ローン焦げつき

ビッグスリーの処理

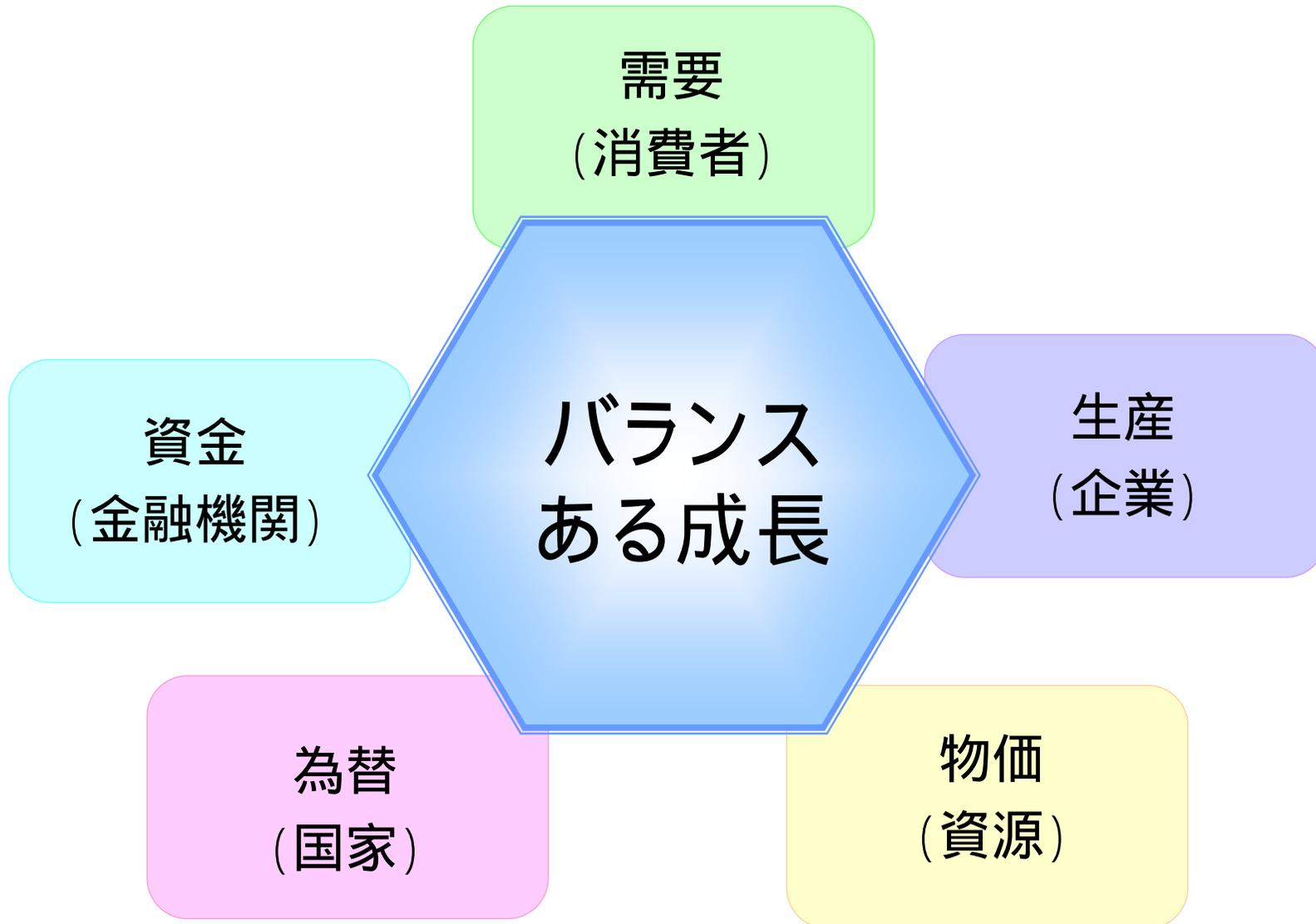
ソフトランディングにより最終的に破綻処理へ 1社残すか

中期的な経済成長力

成長と衰退の混在 全体は成長力キープへ

- ・米国:消費大国から投資大国への変貌
低成長だが筋肉質の国へ(省エネ・環境・インフラ、先端技術への挑戦)
- ・新興国、特に中国:内需主導型経済への転換で高成長持続
- ・日本:明確な指針が必要
世界のお手本となるライフスタイルと先端技術で世界をリード

	人口	GNP	~ 07年	08年~ 09年	10年~
先進国	10億人	50%	2%	- 2%	1%
新興国	50億人	50%	8%	5%	5%
合計	63億人	6000兆円	5%	1%	3%



世界に冠たるライフスタイルと先端技術で世界を救う

JAPANスタイル

- ・もったいない、腹八分目、軽薄短小 環境、省エネ省資源
- ・もてなし、心遣い サービス精神、顧客第一主義
- ・武士道、恥の文化 コンプライアンス

先端技術 ソリューションにつなげる能力との合体

- ・省資源省エネ・環境対応技術
- ・快適便利技術
- ・超微細・ナノテク技術

旧来産業の劇的衰退と新産業の創出

